



一般社団法人 神奈川県作業療法士会

神奈川県作業療法士会 ニュース

2016年11月 No.182

Contents

作品コーナー	1	理事会報告	8
第2回神奈川県臨床作業療法大会を終えて	1	各部からの報告	9
第2回神奈川県臨床作業療法大会—開催報告—	2	[TOPIC] 役員選挙のお知らせ	11
[TOPIC] 「日本作業療法士協会 設立50周年記念式典&祝賀会」に 参加し改めて思うこと～これまでの50年、これからの50年～	4	"Around the World"	11
～第16回神奈川県作業療法学会への道のり vol.3～	5	訃報	12
連載 生活行為向上マネジメント	6	事務局からのお願い	12
研修会案内	7	編集後記	12

作品コーナー

作品名 クラフト工芸（かご）
製作者 永井 咲子様 (69歳・脊髄空洞症、パーキンソン病)

作品について 10数年前の難病の症状で手先の脱力等があり以前好きだった手芸は全く考えていませんでした。通所リハビリに通院する様になり、きっかけをつくって頂き気にいったクラフトのかごまで出来る様になりました。今ではかなり時間は掛かりますが編み物にも挑戦中です。毎日少しずつでも物が出来上がる楽しさを実感しています。

●担当作業療法士：桜井 大和氏（佐藤病院）

クラフト工芸（かご）



第2回神奈川県臨床作業療法大会を終えて

クローバーホスピタル
第2回神奈川県臨床作業療法大会 大会長 遠藤 陵晃

去る8月7日日曜日藤沢市民会館で4年ぶりに第2回神奈川県臨床作業療法大会が開催されました。4年ぶりの開催ということもあり臨床作業療法大会に初参加の方も多かったと聞いています。

今回の大会テーマを『作業療法士の“してん”～視点・支点・始点～』として、シンポジウム、特別講演、教育講演、リレー発表などを盛り込み大会を開催しました。

シンポジウムでは作業療法士の“してん”として早川 裕子先生、言語聴覚士の“してん”として言語聴覚士である森田 秋子先生をお迎えして他職種の連携や臨床の進め方のお話を聞くことができました。また、高次脳機能障害の症例を通して作業療法士としての考え方、言語聴覚士の考え方を経験あるお二方の持論を含めて貴重なお話を聞くことが出来ました。

特別演題では国際医療福祉大学リハビリテーション医である前田 真治先生から『脳画像のみかた』についてわかりやすく楽しい講演を聞くことが出来ました。

教育講演では、『対象者も治療者自身も活性化できる認知行動療法入門』を県立保健福祉大学奥原 孝幸先生より、『活動と参加を見据えた作業療法アプローチについて』を静岡県立静岡がんセンター田尻 寿子先生より講演を頂きました。

同時開催されました一般公開講座で認知症サポーター講座として行われた『認知症と付き合っていくこと～私たち抜きに私たちのことを決めないで～』では、68歳で「前頭側頭型認知症」と診断を受けた当事者である奥公一氏に講演を頂き専門職としてならず貴重なお話を聞くことが出来ました。

今までなかなか取り入れられていなかった急性期・回復期・生活期のリレー発表を行い各領域からの意見交換ができ、各領域で考えていることや知りたいことも聞くことが出来ました。

口述発表では25演題5セッションともフロアーや座長から質疑があり有意義な意見交換でき、大変盛り上がりました。

今大会は小規模にもかかわらず各講演ができる方に一齊にお集まり頂くことができ、1日の研修会としてはボリュームが多くなりましたが充実した臨床作業療法大会になったと思います。当日は若い作業療法士の参加が多く、若い作業療法士の学びたい力が神奈川県作業療法士会として力強く感じています。合わせて、一般参加者、他職種、他県士会からも参加者を迎えることができ、改めて神奈川県作業療法士会の影響力があることを感じた大会になっています。

大会参加人数も361名と多くの方をお迎えしての大会でした。当初の予定を上回る参加者となり、何かと行き届きなことがあったと思います。スタッフの代表として、お詫び、お札を申し上げます。また、1年前からの準備を積み上げてきた実行委員12名と当日の運営スタッフ、学生ボランティアの協力の賜物かと考えます。本当に大会運営ありがとうございます。

最後に4年ぶりに開催された神奈川県臨床作業療法大会ですが、多くの方の協力があり無事に開催することができました。今後も素晴らしい大会が開催できること、次回第3回神奈川県臨床作業療法大会へ繋がること思い大会報告とさせていただければと思います。



2016年8月7日(日)、藤沢市民会館において第2回神奈川県臨床作業療法大会が開催され、盛会のうちに終了いたしました。ご参加いただきました皆様、大会運営へご協力いただきましたスタッフの方々、ありがとうございました。実行委員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

大会参加者数、アンケート結果、大会の様子をご報告させていただきます。



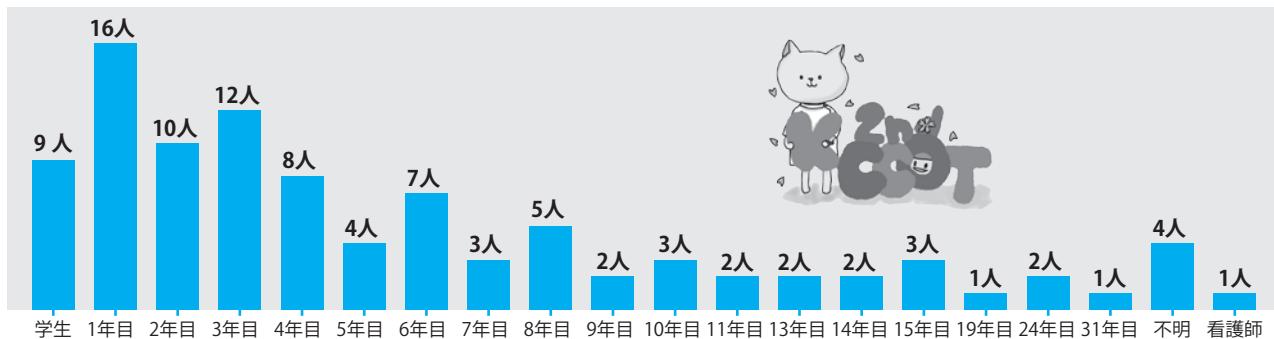
大会参加者数 361名

内訳 (OT・他職種 262名／学生 59名／一般 40名)

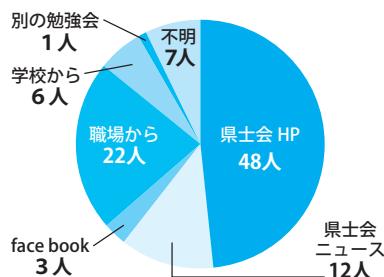


アンケート結果 (回答者数 98名)

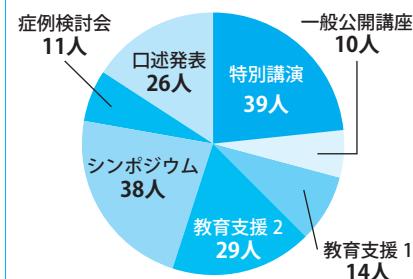
Q1. あなたの経験年数を教えてください



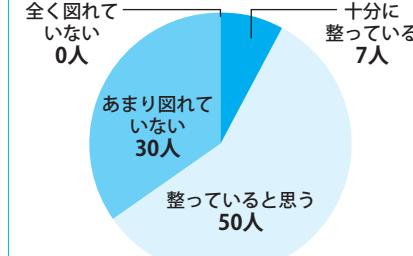
Q2. 大会開催はどこでお知りになりましたか？



Q3. 印象に残ったプログラムは何ですか？



Q4. 職場の他職種の連携についてお答えください



Q5. ご意見・感想 ※アンケートの一部を掲載

- 聴きたい講義が同じタイミングで迷うことがあった。会場からの質疑が少ないような(自分も含めてだが)。
- 特別講演のレジュメを頂けたら嬉しかった。責任病巣も教えて頂ける機会があると幸い。
- (看護師の参加者より) OT の研修会・大会は他職種の参加が出来なかつたことが多かった。OT を理解する為と医療スタッフとして協働・連携していく為にも OT の視点・技術等を学びたい。
- 抄録は PDF でのデータなどで事前に読めるようにして頂きたい。
- 臨床に則した内容・進行・ディスカッションをもっとすべき。明確に県学会と分けて事例を増やす、企画並行を辞めるべき。(質担保のため、ベテランの発表の場)
- 早口で話すことが多いので疲れやすい。受付の対応が遅い。誘導が悪い。
- 会場がコンパクトで行き来しやすい。しかし、昼食の時間が短く、午後の講座に遅れてしまった。
- 充実した内容だったが、時間が重なっていた講義もあったため、また機会があれば良いと思う。
- 口述発表の質向上。



「日本作業療法士協会 設立 50 周年記念式典＆祝賀会」に 参加し改めて思うこと～これまでの 50 年、これからの中村会長

神奈川県作業療法士会 副会長 澤口 勇

開催日時 2016（平成 28）年 9 月 25 日（日）**場 所** ハイアットリージェンシー東京
出 席 協会役員、名誉会員、来賓（厚生労働省ほか行政官庁、関係団体、WFOT 会長、
設立時にお世話になった方々、賛助会員）、各県士会代表、会員 **総 勢** 約 300 名



感謝状贈呈後の記念撮影（左より佐藤馨先生、松本妙子先生、中村会長、石崎麻子先生、松葉正子先生）

1966（昭和 41）年 9 月 25 日（日）、日本で初の OT 養成校となる国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院（清瀬）のとある教室だったと伺う。作業療法士が国家資格化された年、18 名の先輩たちによって、日本作業療法士協会は誕生する。設立総会当日は台風 26 号のために交通機関がマヒした結果、総会開始時間になってもまだ汽車の中にいる会員がいたり、現地に到達できない会員が多数出て、開始を 1 時間半遅らせたという、なんとも頗もしいエピソードのついた船出だったと、式典にご来賓でご出席された先生方のスピーチから伺いました。現在の日本作業療法士協会の会員数は 5 万人を超えてます。今の我々からしてみれば、到底想像のつかないご苦労をされたのだと改めて思いましたし、今、私たちが作業療法の道を歩んでいけるのも先輩たちのおかげだと、感謝しなければならないと思いました。

会式は「式典」と「祝賀会」と二部に分かれ、式典では「中村会長挨拶」のあと、ご祝辞を「厚生労働大臣」「文部科学大臣」から賜り、さらには「日本医師会」「日本リハビリテーション医学会」「日本看護協会」と賜りました。その後、厚生労働大臣表彰を会員が受け、その表彰式に移り、最後に OT 協会より感謝状として「上田 敏先生」「松井 紀和先生」ら作業療法の発展に著明な功績を残された、多数の著名な先生方が表彰されました。出席者の名前を見ると、私も学生当時によく読んだ参考書の本のタイトルが頭に浮かびましたし、自然と学生の頃の自分が蘇ってきました。最近、忘れていた感覚です。

また神奈川では大変光栄ですが、永年会員への感謝状として「佐藤 馨先生」「松葉正子先生」のお二人が表彰を受けられたことも紙面を借りてお伝えしたい。しか

もお二人の先輩方は現在も神奈川県士会の会員です。また大変驚くことに OT 協会設立総会時のスナップ写真にお二人が並んで写っていたことです。これには私も大変恐縮し、会場で直接ご挨拶をさせて頂きましたところ「この県士会ニュースもかかさず読んでいる」と言われ、改めて今を務める我々の責任の重さを感じました。

紙面が限られてきましたのであとひとつ、これだけは伝えたい。日本の作業療法の歴史上に残るであろうことです。二部の「祝賀会」で、ご来賓のスピーチで「日本精神神経学会」よりご祝辞を賜りましたが、そこで「1975 年日本精神神経学会は精神科作業療法の診療報酬点数化に反対声明文を出し、日本作業療法士協会に大変なご迷惑をおかけした。ここにお詫びしたい」と日本作業療法士協会に対し、登壇上で謝罪がありました。会場にいた富岡先生や山根先生はじめ OT 会員たちのどよめきとなんとも言えぬ感嘆の声を今でも鮮明に思い出せます。「当時の誤りを認める。あれは、一部の精神科病院で患者を誤って使役で用いていたことを捉えたに過ぎず、作業療法は、治療である」と述べられました。

今日、作業療法はあらゆるフィールドに広がり、会員の皆さんには日々患者や市民のために作業療法を施されていると思います。でも今日の我々があるのは、これまでの 50 年「作業療法」を市民に認めてもらおう、知ってもらおうとする、先輩方々の熱い思い（熱量）があったからにほかならないと私は思いました。しかし、これからの中村会長は私たちが担う番です。この熱い思いは受け継がなければなりません。熱は、注がないと冷めてしまいます。あらゆる「術」も「思い」があるのとのんとのでは、相手に伝わる「もの」が違うかもしれません。熱い思い、皆さんは持っていますか？



挨拶する第 4 代中村春基会長

～第16回神奈川県作業療法学会への道のり vol.3～

精神領域シンポジウムについて

松岡 太一

今回の学会テーマは「選択する未来」。精神領域の作業療法も未来に向けて転換が迫られていると思います。

昨今、精神領域において「リカバリー」の理念が注目されています。毎年盛況に開催されているリカバリー全国フォーラムをはじめ、“当事者が主体的に自分らしい生き方を追求する”という考え方方が広がりを見せており、いまやリカバリーは支援のあり方を方向付ける共通の理念となっています。

一方、作業療法の現在の潮流としては、協会の推進する生活行為向上マネジメントに代表されるように、クライエントの大切な作業の実現を支援する「作業に根ざした実践」の重要性が叫ばれています。また、9月に開催された日本作業療法学会でシンポジウムが設けられたように、作業療法の定義改定も進められているところです。私たち精神領域に従事する作業療法士は、これらの動向もふまながら、リカバリーという理念の中における自分たちの立ち位置を意識する必要があるのではないかと思います。

そこで、本シンポジウムのテーマを「リカバリーにおける作業療法の役割」とし、埼玉県立大学教授・POTA（精神科作業療法協会）理事長である大橋秀行先生をお招きして、リカバリーと作業療法をつなぐ概論をお話していただくこととなりました。また、日頃より熱心な取り組みをされている秦野厚生病院の柏沼祐人さん、横浜市総合保健医療センターの馬場順子さんより、それぞれ実践報告をしていただく予定です。また、参加者の皆さんの意見や、日頃からの想い等を交わす時間も設けたいと考えています。

本シンポジウムを通して、「果たしてリカバリーにおいて作業療法はどのような役割を担えるのか、担うべきなのか?」「どのような未来を選択する必要があるのでどうか?」ということをあらためて考え、これから精神領域における作業療法の立ち位置を明確にし、クライエントに最大限貢献するための新たな一步を踏み出せる機会になればと願っています。皆さまのご参加をお待ちしています。

第16回神奈川県作業療法学会 演題募集開始のお知らせ

演題採択委員長 魚岸 実弦

2016年9月号の県士会ニュースでもお伝えしましたように、第16回神奈川県作業療法学会が2017年7月2日(日)に神奈川県立保健福祉大学で開催されます。そしてついに、10月3日から演題募集が始まりました。県士会ホームページ内に本学会のホームページがあり、演題登録画面からオンライン登録をおこなうことができます。本学会は発表者がより多くの参加者とディスカッションできるよう、自由討議形式でのポスター発表を全演題で採用します。演題登録の詳細は、本学会のホームページおよび9月号の県士会ニュース内をご参照ください。たくさんの演題登録をお待ちしています。

演題募集要項（抜粋版）

I. 応募資格

筆頭演者（発表者）が神奈川県作業療法士会正会員であることが要件となります。

II. 応募受付期間

2016年10月3日(月)～2017年1月31日(火)

III. 発表形式

本学会ではすべてポスターでの発表となります。発表時間は50分設けており、自由討議形式で実施します。

IV. 演題内容にかかる倫理的事項について

一連の過程において、倫理的な配慮を十分に実施してください。発表にあたって、所属先機関の倫理委員会もしくはそれに相当する機関の承認（例：所属長等の承認）を得てください。

V. 応募方法

演題応募は、本学会ホームページからのオンライン登録のみとなります。和文だけでなく、英文での登録も可能です。

VI. 演題採択基準

本学会ホームページの「演題登録」から「第16回神奈川県学会演題募集要項」をご覧ください（県士会ニュース9月号にも掲載しています）。

VII. 演題採択結果の通知

演題採択委員会より電子メール（応募時のアドレスに返信）で筆頭演者宛に通知します（29年4月上旬を予定）。

VIII. 基礎研修ポイント

本学会にて演題発表を行った場合は、発表加算として（社）日本作業療法士協会 基礎研修ポイント2ポイントが付与されます。

IX. その他

演題応募に関して不明な点は、第16回神奈川県作業療法学会演題採択委員会までお問い合わせ下さい。

第16回神奈川県作業療法学会事務局

神奈川県立保健福祉大学作業療法学専攻

〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町1-10-1

TEL: 046-828-2804 FAX: 046-828-2804

E-mail: 16jimu@kana-ot.jp

学長 玉垣 努



生活行為向上マネジメント

生活行為向上マネジメントの流れとツールの紹介 part6

生活行為向上マネジメント（Management Tool for Daily Life Performance : M T D L P）は作業療法士の臨床思考過程を見える化したツールです。

前回に引き続きM T D L Pの流れとツールの紹介をいたします。

メインシート

- ①生活行為聞き取りシート
- ②生活行為アセスメント演習シート
- ③生活行為向上プラン演習シート

サブシート

- ④興味関心チェックシート
- ⑤生活行為課題分析シート
- ⑥生活行為申し送り表

今回は前回も少しだけ掲載いたしましたが、医療機関等に入院する際の申し送り表についてご紹介いたします。

比較的最近作成されたシートになるので、研修会や文

献等でご覧になったことのない方もいるかと思います。今までの申し送り表が医療機関から在宅支援者への申し送りを想定したものであったため、在宅支援者から医療機関への申し送りの際には情報が不十分でした。そこで、退院後も継続した生活行為の向上を目指すために、医療機関でのアプローチ内容に在宅支援内容を反映していくだけるよう「医療への生活行為申し送り表」が作成されています。

以下「医療への生活行為申し送り表」の項目となっています。

- 1) 生活行為の目標、合意した目標
- 2) 基本情報
- 3) 生活状況 (ADL, IADL 等の状況)
- 4) 支援状況 (在宅サービス利用状況、支援の経過)
- 5) 環境面 (自宅見取図、自宅以外の環境)

生活行為向上マネジメントを病院、事業所内で取り組んでいくためには様々な調整が必要かと思われますが、生活行為申し送り表は単独でも使用することができますので、積極的なご活用をお願いいたします。

(文責：生活行為向上マネジメント推進委員会 木村)

医療への生活行為申し送り表									
【生活行為の目標(本人・家族)】									
合意した目標									
当事業所では生活行為の向上を図るため、下記の通り支援しております。ご状態に応じてご活用いただきますようお願いいたします。									
【基本情報】									
氏名	性別	年齢	生年月日	年齢	歳				
要介護度	申請中(現在:)	変更中(現在:)	更新中(現在:)	初回申請日 H	年	月			
自立	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5		
家族構成	主な生活歴(成育・生活状況)								
家族の介護力									
入院前現病名									
既往歴									
【生活状況】									
ADL・IADL	してないができない	支援が必要	特記事項	ADL・IADL	してないができない	支援が必要	特記事項		
食べる・飲む	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
移乗	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
整容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
トイレ行為	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
入浴	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
平地歩行	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
階段昇降	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
更衣	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
屋内移動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<その他日常生活について> 主な過ごし方／本人の日常生活の役割／苦労／行動面の課題など					
屋外移動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
交通機関利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
【支援状況】									
在宅サービス利用状況					他の状況				
支援の経過									
裏面に続く									

【環境面】									
自宅見取図									
例)段差が多い・廊下は車椅子使用が不可能など									
アセスメント									
例)外出先など本人の行動範囲における環境の概略図など									
自宅以外の環境									
例)自宅前は緩やかな勾配・交通量が多いなど									
アセスメント									
例)自宅前は緩やかな勾配・交通量が多いなど									
備考									
作成日： H 年 月 日 事業所： 作成者：									
本シートの著作権(著作人格権、著作財産権)は一般社団法人日本作業療法士協会に帰属しております。本シートの全部又は一部の無断使用、複写・複製、転載、複数媒体への入力、内容の変更等は著作権法上の例外を除いて禁じます。									

研修会案内

地域の作業療法士の為の歩行と下肢装具について の講習会

主 催：東京都作業療法士会 教育部
日 時：2016年12月11日（日）
場 所：帝京平成大学 池袋キャンパス
U R L：<http://tokyo-ot.com/training/index.php>

第16回リハビリママ&パパの会勉強会

第1回リハママ＆パパの会
～今さら聞けないシリーズ～
腰痛の評価とアプローチの基礎
主 催：リハビリママ＆パパの会
日 時：2016年12月18日（日）受付9:30～
場 所：リハビリテーション天草病院
U R L：<http://ptmama2008.jimdo.com/>

『川平法 脳卒中に対する促通反復療法』

鹿児島大学医学部名誉教授・

鹿児島大学医学部名誉教授
川平先端リハラボ所長 川平和美先生

主 催：NDK 横浜研修

日 時：2016年12月18日（日）

時：2018年12月18日（日）
場所：ウィリング横浜

第45回日本リハビリテーション工学協会

車いすSIG講習会 in 厚木

主 催：日本リハビリテーション工学協会 車いすSIG
日 時：2017年1月28日（土）～29日（日）
場 所：プロミティあつぎ
U R L：<http://www.wheelchair-sig.jp>

平成 28 年度第 2 回研修会

「専門職連携～空き家再生ワークショップ～」

主 催：神奈川県建築士会 技術支援委員会 福祉部会
日 時：2017年2月18日（土）
場 所：地球市民かながわプラザ 多目的室
U R L：神奈川県建築士会ホームページ
<http://www.kanagawa-kentikusikai.com/>

評価・治療の為の骨・筋の触診セミナー

主 催：療法十活性化委員会

日 時：2017年1月14、15日、2月4、5日、

3月4、5日

場所：ウィリング横浜


**理事会
報 告**

平成28年(2016年)度 第3回理事会議事録

日 時 平成28年9月15日 (木) 19:00~21:43

場 所 神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：錠内、澤口、佐藤、奥原、神保、吉本、遠藤、名古屋、作田、内山、木村、村越 計 13 名

欠席理事：福留、野々垣 出席監事：清宮、田中

そ の 他：沼田（制度対策部福祉用具関連事業班）、出口（広報部ニュース編集）、金山、池田、魚岸（事務局：書記）

●報告・検討事項

1. 事務局（錠内会長代読）

(1)報告事項

1) 涉外・協会関連

- ①神奈川県リハビリテーション協議会連携指針検討部会委員の推薦→澤口副会長を推薦
- ②神奈川県病院学会第35回神奈川県病院学会（11月15日）シンポジスト→木村理事へ依頼
- ③日本作業療法士協会50周年記念式典・祝賀会について 澤口副会長と神保理事が出席。会場係りとして吉本理事と福留事務局長参加。50周年事業としてポストカードを作成中。

2) 庁務関連

- ①会費引落しに関して 入会希望者の納入漏れを防ぐため手順を提案。詳細は県士会サイト参照。

(2)審議事項

1) 再入会の件 ⇒ 4名を承認

2) 選挙管理委員会の推薦 ⇒ 5名を承認

3) 臨時総会の開催について 11月2日（水）

19:00 受付、19:30 開始 会場：開港記念館

2. 財務部（佐藤理事）

(1)報告事項

1) 平成28年度中間監査の実施について

日時：平成28年10月22日（土）14:00

会場：事務局

(2)審議事項

1) 通信費削減提案について

理事会公文書を理事MLにて送信。必要時各自プリントアウトする。また、入会時会員通知手続きを簡略化し、現在2回実施しているものを1回に変更する。⇒承認

3. 広報部（神保理事）

(1)審議事項

- 1) 作品が掲載された対象者の方へのニュースお渡しの手間と料金について
⇒個人情報の部分は広報部が責任を持って行うが郵送は事務局が行う。
- 2) 部員承認 1名 ⇒ 承認

4. 福利部（吉本理事）

(1)報告事項

1) 職場見学・体験班『NPO法人 laule'a（遊びリパーク リノア）』日時：2016年9月22日（木）
講師：大郷和成氏 テーマ：障害を持つ子どもたちのための放課後等デイサービスの起業と作業療法の可能性

2) 新規入会会員への入会済み案内チラシ 作成数の200枚が終了したため内容を一部更新。

(2)審議事項

1) 2017年度 日本作業療法士協会特別表彰 推薦者の検討・審議 鶴見隆彦先生を推薦。⇒承認

5. 地域リハ部（遠藤理事）

(1)審議事項

1) 部員の承認 1名 ⇒ 承認

6. 制度対策部（野本理事）

1) OT協会制度対策部モデル事業経過報告 事例200件を目標としているが、現在29名の登録で事例数は11例に留まっている。目標件数を目指して登録をお願いしたい。

(2)審議事項

1) 部員承認 2名 ⇒ 承認

7. 規約委員会（名古屋理事）

(1)審議事項

1) 定款および規約の一部変更について 前回総会で代議員より選挙について質問があった。整合性を合わせるために変更を行いたい。 ⇒ 臨時総会にて提案する。

8. 学会評議委員会（内山理事）

(1)報告事項

1) 第2回神奈川県臨床作業療法大会報告
参加人数：323名、実行委員：13名、当日運営スタッフ：OT24名、学生38名

9. 認知症事業対策委員会（村越理事）

(1)報告事項

1) 日本作業療法士協会 認知症OT推進委員会会議
11月19日（土）～20日（日）参加予定者：村越理事

各部からの報告

福利部

職場見学・体験会（起業編）～見て・聞いて・体験して～ 作業療法の必要性・可能性を感じた1日

2016年9月22日（木）、特定非営利法人laule'a(ラウレア)放課後等デイサービス「遊びリパーク Lino'a(リノア)」にて職場見学会を実施させて頂きました。講師は「スポットライト～OTの生き方～」にも寄稿して頂いた大郷和成氏です。「遊ぶ力を伸ばし、学ぶ力を身につけ、生きる力を育む」というテーマを基にした施設の紹介や児童たちとの触れ合いなど、とても充実した時間となりました。遊びの中にリハビリの要素を取り入れ、児童たちの興味・主体性を引き出すことが大切との先生の話の通り、広々とした施設内でたくさん遊具を上手に使用して遊ぶ児童たちの素敵な笑顔をみると参加者の皆様も自然と笑顔になっていました。質疑応答ではそれまで勤めていた病院から地域に移った経緯や、今後の取り組みについての説明があり、参加者から多くの質問が挙がりました。

今回の見学会を通して感じた事は、作業療法士は活躍する枠に捉われず、様々な分野・領域で活動する事

が可能だという事です。その源には「患者様・利用者様を良くしたい、地域のために貢献したい」など熱い思いがあってこそその事だと感じました。私たち、作業療法士は多くの方に必要とされています、熱い思いを持って、その可能性を広げていきたいと改めて感じる1日となりました。

また、会の終わりには「いつでも施設に見学に来てください」との言葉を頂きました。皆様も是非一度、放課後等デイサービス「遊びリパーク Lino'a(リノア)」を見学されてはいかがでしょうか？

さて、次回は『「想い』を大切に「生活」に寄り添う活動を体験しよう！』をテーマに、訪問リハビリテーション、地域リハビリテーションの職場に迫ります。講師は、第1回神奈川県訪問リハビリテーション学術集会で優秀賞を受賞された、山崎純一氏を予定しております。年明け2月頃の開催予定です。ご期待ください！！

(文責:福利部 会員交流班 職場見学・体験会担当 梅田洋平・池嶋孝二)



児童との触れ合いの様子1



児童との触れ合いの様子2



質疑応答の様子



実際の場面を通しての質疑応答

地域リハビリテーション部

〈地域リハビリテーション部主催の研修案内〉

●難病リハビリテーション研修会（仮）〈旧 ALS コミュニケーション支援講習会〉

開催日：平成 29 年 2 月～ 3 月（予定）

開催地：未定 ※ 詳細が決定次第ニュースと HP に掲載

〈地域ケア会議に出席された会員の方へ〉

地域包括ケアシステム構築に向けて各市町村の動きが徐々に始まっております。その一つに地域ケア会議がありますが、既に地域ケア会議に出席経験のある会員がいらっしゃいましたら、地域リハビリテーショ

ン部 (chiikireha@kana-ot.jp) にご連絡をいただけますと幸甚に存じます。これは情報収集を目的としたもので、今後の県士会活動に反映したいと考えております。ご協力よろしくお願ひいたします。

（文責：地域リハビリテーション部 遠藤）

教育部

県士会ウェブサイトから
質問ができます！

連載「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、生涯教育制度関連の情報を毎号少しづつお伝えしています。

I. 今後の生涯教育制度関連の研修会

* 県士会ニュースや県士会ウェブサイトをご参考ください。

1. 現職者選択研修：必修の MTDLP 基礎研修と領域別選択（身体・老年期・精神・発達の 4 障害領域から一領域：90 分 × 4 コマの選択受講が必要）の研修で、生涯教育制度の必須基礎研修です。

また「この先生の話が聴きたい！」とうコマ単位での受講も可能です。今年度は、「老年期領域」を開催します。詳細は今号チラシ、県士会ウェブサイトをご覧ください。

・老年期障害領域 2017 年 1 月 29 (日)

ウイリング横浜

1. 老年期の基礎知識
2. 老年期作業療法の治療的枠組み：
講師 水島眞由美 氏
(横浜リハビリテーション専門学校)

3. 地域生活を支援する

4. 老年期の作業療法実践、トピックス：
講師 佐藤良枝 氏 (曾我病院)

2. 現職者共通研修「事例検討」と「事例報告」：

2017 年 3 月 5 日 (日) ウイリング横浜

* ぜひお申し込みと事例報告へのチャレンジを！

3. 現職者共通研修「事例報告と事例研究」、 「保健・医療・福祉と地域支援」：

12 月 11 日 (日) 午後 ウイリング横浜

* 午前中事例報告登録制度に関する研修会が開催されます (以下参照)

4. 事例報告登録制度に関する研修会 受付中！

12 月 11 日 (日) 10 時 30 分～ 12 時 (受付 10 時より) ウイリング横浜

参加費：神奈川県士会員無料！ 他県士会員 1,000 円

* 13 時より現職者共通研修を開催しています (上記参照)。合わせてご参加ください。

生涯教育制度に関してご不明の点はご連絡ください。
県士会ウェブサイトからもご質問ができます。

（文責：教育部 奥原孝幸 (神奈川県立保健福祉大学)）

045-828-2738 (直)、kyoiku @ kana-ot.jp



役員選挙のお知らせ

平成 27 年 5 月 31 日に役員選挙が開催されました。今年度をもちまして前任の先生方が 2 年の任期を終えるため、来年度に向け選挙が行われます。

そして、この度、役員選挙に向けて選挙管理委員会が結成されました。

池田 公平（イムス横浜狩場脳神経外科病院・委員長）
 大郷 郁美（新戸塚病院）
 山口 悠里（特別養護老人ホーム恒春の丘自宅）
 宮沢 優（イムス横浜狩場脳神経外科病院）
 横山 早紀（イムス横浜狩場脳神経外科病院）

上記の 5 名で役員選挙に向けて、準備も含め円滑な運営を進めてまいります。

【今後の流れ】

立候補届をニュースに同封させて頂きます。また、同時に Web サイトからもダウンロードが可能となるように準備させていただきます。

役員の承認は総会内で行われますので選挙結果は速報にて web で公開されます。また、随時、県士会ニュースや web お知らせにて公開してまいりますので、ご確認をよろしくお願ひいたします。

ぜひ、県士会のよりよい活動展開に向けて、立候補をしていただければと思います。たくさんの立候補をお待ちしております。

（文責：選挙管理委員会 委員長 池田）



米国の「なりたい職業」に OT がランクイン！

米国の「なりたい職業ランキング」や「子どもになつてほしい職業」に作業療法（OT）がランクインしていることはご存知でしょうか？日本ではまだ認知度が低い OT。なぜ米国ではこのように OT が誰もが知る職業へとなり得たのでしょうか？

その因子の一つが、学校教育への参入です。米国の公立校には、当たり前のように OT 室があり、OT が勤めています。そこでは、障害の有無に関わらず、OT によるサポートを直接的または間接的に受けることができます。例えば、教員からクラスの気になる子どもの相談があれば、OT が実際にクラ



筆者が研修をした米国小学校の OT 室（魔法の道具がたくさん！）

スに介入しながら本人の評価を行い、適した環境設定や学習課題の内容などの助言を行います。また、個別指導計画で OT が必要となった場合には、OT による個別もしくは小集団の訓練を定期的に学内で受けることができます。さらに、1 年生を対象とした感情コントロールやコーピングについての授業は、OT が担当しているのです。

このように幼少期から障害の有無に関わらず OT に触れることが多く、何か困ったことがあると魔法の道具（自助具）を取り出して助けてくれること、自分にあったオーダーメイドな遊びや勉強内容を考えてくれること、などから、子どもたちにとって OT が「憧れの職業」となっているようです。

米国の OT は今年 100 周年を迎えます。これからも変化をし続ける米国の OT から目が離せません。

おまけ情報

米国 OT 100 周年記念大会が 2017 年 3 月 30 日から 4 月 2 日までフィラデルフィアにて開催されます。詳細は、米国 OT 協会 (www.aota.org) の Conference & Events のページをご覧ください。

（文責：趣味は落語鑑賞。最奥の漸家さんの出囃子の鼻歌を歌いながら執筆中の K・T）

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。

会員番号 111・名誉会員 長谷川 元(神奈川県) 9月19日逝去

【協会役員歴】

1970～1971年 常務理事
1971～1974年 理事
1974～1990年 常務理事
1991～2001年 副会長
2001～2007年 監事

【その他の主な協会役職歴】

2000年 第34回日本作業療法学会学長
1970～1971年 庶務部部長
1973～1974年 点数化問題委員会委員長
1974～1977年 診療報酬対策委員会委員長
1977～1991年 涉外部部長
1995～1997年 30周年記念誌編集委員会委員長他多数

【表彰歴】

1986年 厚生大臣表彰
1996年 日本作業療法士協会 協会表彰
2009年 日本作業療法士協会 名誉会員表彰他

【都道府県作業療法士会役員・役歴】

1981～1986年 神奈川県作業療法士会副会長
1987～2006年 神奈川県作業療法士会会长
2007～2013年 神奈川県作業療法士会監事
2013年～ 神奈川県作業療法士会名誉会員
2014年～ 神奈川県作業療法士会特別顧問

事務局

からのお願い

休会される方

来年度に休会予定の方は、前年の**12月31日**（末日消印有効）までに①『休会届』と②『証明書』を郵送でご提出願います (**FAX不可**)。

退会される方

年度内に退会予定の方は、**3月15日**までに『退会届』を①郵送又は②FAXにてご提出願います (**上記日必着**)。

届出内容を変更される方

住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『変更届』を①郵送又は②FAXにてご提出願います。
(隨時受付)

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ[公式ウェブサイト](#)のINDEXより、ダウンロード可能です。なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落しとなり、返金を致しかねます。



鍋やおでんの季節になってきましたね!! 皆さまいかがお過ごしでしょうか? 体調を崩しやすい季節ですが、今年も残すところあと2ヶ月ですね~。

県士会ニュース11月号は2016年締めくくりの発刊となります。少し早い挨拶になりますが、今年もお世話になりました。来年も県士会ニュースや神奈川県作業療法士会をどうぞよろしくお願い致します。

(Rex.h)

一般社団法人 **神奈川県作業療法士会ニュース** <182号>2016年11月発行(年6回発行)

発行責任者 錠内 広之

編集責任者 神保 武則

編集担当 出口 弦舞 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)

山岡 洋 (新戸塚病院) / 桜井 大和 (佐藤病院)

佐藤 愛 (新戸塚病院) / 田中 優子 (横浜旭中央総合病院)

丸岡 ちひろ (済生会横浜市東部病院) / 井部 賢吾 (北里大学東病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル301号 TEL/FAX: 045-663-5997

月火水木金 10:00～15:00 メールアドレス: jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp> → 作業療法 神奈川 検索

Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>

Twitter <https://twitter.com/kaotwebkan>

